

**【担当教員】**

村上 直久

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟506室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースだが、特に「読む」と「聞く」に重点を置く。視聴覚教材を活用し、ナチュラル・スピードで話される英語を理解する力を養成する。英語学習の基本としての辞書の引き方を確認する。基本的文法事項を改めて学習する。

**【教科書】**

最初の授業で指示する。

**【成績の評価方法と評価項目】**

最初の授業で説明する。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

野中 辰也

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

毎時間、主に以下の項目について解説・演習を行なう。

- 1) 速読練習
- 2) 辞書指導・基礎文法解説
- 3) 多読作業

**【教科書】**

特定の教科書は使用せず、必要に応じてハンドアウトを配布する。  
辞書必携(第3週目から使用できるように用意すること)

**【参考書】**

- 1) 『理系のためのサバイバル英語入門』  
東大サバイバル英語実行委員会著 講談社ブルーバックスB1109
- 2) The Daily Yomiuri(日刊英字新聞)

**【成績の評価方法と評価項目】**

- 1) テスト(40%) : 学期末に実施。
- 2) レポート1(40%) : 毎授業中のレポート提出数および内容。
- 3) レポート2(20%) : 指定した速読教材の要約文(毎回の宿題)。
- 4) 出席: 遅刻・欠席は減点対象とする。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
毎時間、英和辞典を持参すること。

**【担当教員】**

村山 康雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503室

**【授業目的及び達成目標】**

ある程度内容のある英語の文章を一文、一文日本語に訳さないで内容を把握する練習を行う。また自然な速さで読まれた英語を聞き取る練習を行う。

**【授業キーワード】**

速読、内容把握、文法、聞き取り

**【授業内容及び授業方法】**

下記の速度用の教材を用い、英文を辞書を引かないで読み、内容を把握する練習を行う。毎回の授業ではおよそ1ページの本文を読み、それに対して(1)内容をざっと読み、特定の情報を探し出す練習、(2)本文全体の理解を試すためT/F問題を行いその根拠となる箇所を本文から書き出す作業、(3)語彙に関する学習、を行う。なお学習中、文法項目など理解が困難な場合には随時文法の説明、辞書の引き方等、英語を理解するのに最低限必要な事項は学ぶ。なお、聞き取りに関しては、自然な速度で話された初心者向けの教材(プリントをこちらで準備)を用いてニュースの聞き取りを行う。これにも相当の時間をかける。

**【授業項目】**

なお、読む練習に用いる教科書の内容は以下の通りである。

The TV Is On, But Who Is Watching?  
The Language of Gestures  
Doing Business with the Japanese  
Modern Fathers Have Pleasures and Problems  
Between the Ways: Alaskan Eskimos Today  
The Grand Old Lady of American Art  
Thanksgiving—Then and Now  
A Talking Gorilla  
Ultralights Are Taking Off  
Have a Good Cry

**【教科書】**

Explorations (松柏社)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席、授業への参加、小テストが2割、期末試験が8割とする。

**【留意事項】**

聞き取りも相当時間を使うので、授業中は神経を集中すること。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://murayama2/>

**【担当教員】**

Haga Lori (羽賀ロリー)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

The aim of the course is motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

**【授業キーワード】**

Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

**【授業内容及び授業方法】**

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups. You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood. Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; Dictation will be given as homework.

**【授業項目】**

The schedule is based on Impact TOPICS. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials and the dictation homework.

**【教科書】**

Impact TOPICS By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

**【成績の評価方法と評価項目】**

1) In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week. You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term. A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities and on assignments will be considered. At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30 % of the grade. You need to obtain 60 points to pass this course.

**【留意事項】**

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

**【担当教員】**

沼屋 希夫

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

ビデオテープ、音声テープ、テキストが一体となったマルチメディア型LL教材を用い、日常生活で使われる authentic Englishを学んでいく。特に、聞く力、話す力の向上を目指す。

**【授業キーワード】**

聴解、スピーキング、イギリス文化

**【授業内容及び授業方法】**

13世紀から現代社会に突如現れたWilliamが引き起こすドラマを毎回視聴する。音声テープとテキストによる様々なタスクを行い、聴解力、表現力の養成を図る。また、イギリス文化の紹介記事を読み、ドラマの文化的背景についても学ぶ。

**【授業項目】**

第1週	Prologue: The Family Tree
第2週	Unit 1: Who Are You?
第3週	Unit 2: General Purpose Clothing
第4週	Unit 3: Alchemist and Philosopher
第5週	Quiz 1, Unit 4: Today's Carts
第6週	Unit 5: What's Got into Larry?
第7週	Unit 6: A Convertible Couch
第8週	Quiz 2, Unit 7: Romantic Sally
第9週	Unit 8: Lost in the City
第10週	Unit 9: Ground Floor
第11週	Quiz 3, Unit 10: William Spills the Beans
第12週	Unit 11: It's Fun
第13週	Unit 12: Frantic Reception
第14週	Review
第15週	Final Exam

**【教科書】**

Cousin William (1), 大八木廣人・黄金井健夫・滝本晴男・Janusz Buda (共編), 成美堂

**【参考書】**

Oxford Wordpower 英英辞典

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

**【担当教員】**

村上 直久

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟506室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースだが、特に「読む」と「聞く」に重点を置く。視聴覚教材を活用し、ナチュラル・スピードで話される英語を理解する力を養成する。英語学習の基本としての辞書の引き方を確認する。基本的文法事項を改めて学習する。

**【教科書】**

最初の授業で指示する。

**【成績の評価方法と評価項目】**

最初の授業で説明する。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

野中 辰也

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

毎時間、主に以下の項目について解説・演習を行なう。

- 1) 速読練習
- 2) 辞書指導・基礎文法解説
- 3) 多読作業

**【教科書】**

特定の教科書は使用せず、必要に応じてハンドアウトを配布する。  
辞書必携(第3週目から使用できるように用意すること)

**【参考書】**

- 1) 『理系のためのサバイバル英語入門』  
東大サバイバル英語実行委員会著 講談社ブルーバックスB1109
- 2) The Daily Yomiuri(日刊英字新聞)

**【成績の評価方法と評価項目】**

- 1) テスト(40%) : 学期末に実施。
- 2) レポート1(40%) : 毎授業中のレポート提出数および内容。
- 3) レポート2(20%) : 指定した速読教材の要約文(毎回の宿題)。
- 4) 出席: 遅刻・欠席は減点対象とする。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
毎時間、英和辞典を持参すること。

**【担当教員】**

村山 康雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503室

**【授業目的及び達成目標】**

英語学習の4技能である「聞く、話す、読む、書く」のうちの、主に「読む」力を養うことを目標とする。また単語を覚える。

**【授業キーワード】**

文法項目理解、内容把握、聞き取り、英単語、科学英語

**【授業内容及び授業方法】**

基礎的な文法(5文型、不定詞、動名詞、関係代名詞、分詞等)を学習し、また英和辞書の使い方も勉強し、簡単な内容の文章であれば(辞書を用いれば)読めるように努め、同時にその内容も聞き取ることができるようにする。また、最低限の単語も覚える。教材はアメリカの放送の Voice of America で放送されたものから取られている。主に科学ものを扱い、一般的な科学に関する問題に関心を持つことに努める。

**【授業項目】**

以下の題材を扱う。  
Weather and Depression  
Xerography  
Emotionally Secure Babies  
Feelings and Facial Expressions  
Benefits of Exercises  
Dangers of Space Junk  
Computer Viruses

**【教科書】**

VOA and Grammar (南雲堂)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席、授業への積極的な参加、宿題、小テストが3割、中間、期末試験が7割とする。

**【留意事項】**

授業には英和辞典、科学に関するものを読むのである程度の語数があるものを必ず持って来ること。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://murayama2/>



**【担当教員】**

Haga Lori (羽賀ロリー)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

The aim of the course is motivate the students to think in English. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills. To discuss and give opinions on topics relevant to young people today.

**【授業キーワード】**

Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

**【授業内容及び授業方法】**

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; Dictation will be given as homework.

**【授業項目】**

The schedule is based on Impact TOPICS. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials and the dictation homework.

**【教科書】**

Impact TOPICS By Richard R Day & Junko Yamanaka (Longman ELT)

**【成績の評価方法と評価項目】**

In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week. You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term. A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities and on assignments will be considered. At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30 % of the grade. You need to obtain 60 points to pass this course.

**【留意事項】**

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

**【担当教員】**

沼屋 希夫

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

ビデオテープ、音声テープ、テキストが一体となったマルチメディア型LL教材を用い、日常生活で使われる authentic Englishを学んでいく。特に、聞く力、話す力の向上を目指す。

**【授業キーワード】**

聴解、スピーキング、イギリス文化

**【授業内容及び授業方法】**

13世紀から現代社会に突如現れたWilliamが引き起こすドラマを毎回視聴する。音声テープとテキストによる様々なタスクを行い、聴解力、表現力の養成を図る。また、イギリス文化の紹介記事を読み、ドラマの文化的背景についても学ぶ。

**【授業項目】**

第1週	Prologue
第2週	Unit 1: Praise and Flattery
第3週	Unit 2: Teach Me
第4週	Unit 3: The Girl Chaser
第5週	Quiz 1, Unit 4: The Dishes
第6週	Unit 5: A Microwave Oven
第7週	Unit 6: The Brain
第8週	Quiz 2, Unit 7: William Gets Bored
第9週	Unit 8: A Bull in a China Shop
第10週	Unit 9: Answering Machine
第11週	Quiz 3, Unit 10: A Real Pain in the Neck
第12週	Unit 11: Small Change
第13週	Unit 12: William Gets a Bargain
第14週	Review
第15週	Final Exam

**【教科書】**

Cousin William (2), 大八木廣人・黄金井健夫・滝本晴男・Janusz Buda (共編), 成美堂

**【参考書】**

Oxford Wordpower 英英辞典

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

**【担当教員】**

村山・ドライアー・石岡 精三・中村善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503,510室(村山・ドライアー), 化学経営情報1号棟507室(石岡)  
化学経営情報1号棟505室(中村)

**【授業目的及び達成目標】**

選択科目であり、技能別に関心のある分野を学習しつつ、全般的な英語力の伸長を目標とする。

**【授業キーワード】**

語彙、文法構造、読解、英作文、聞き取り

**【授業内容及び授業方法】**

英文法、英作文、聞き取り等の技能別分野に3クラス開講する。英文法のクラスでは基礎的な語彙、基本的な英文法をを学習する。英作文のクラスでは英文法の理解に基づき、語順などを含む基礎的な作文能力を身につける。聞き取りのクラスでは簡単な聞き取りの練習を行いつつ、読む能力の向上を図る。学生は自分の関心のあるクラスを受講することとなる。

**【授業項目】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【教科書】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【参考書】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【成績の評価方法と評価項目】**

最終試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価

**【留意事項】**

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

**【担当教員】**

田中 章

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

Chapter 1,3,5 (予備はChapter 8)

**【教科書】**

ジョアン・ペロケティ、千葉剛、三瓶眞弘、神康介 「エコライフと経済」 南雲堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

本試験の点数と平常点を加味する。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

**【担当教員】**

Haga Lori (羽賀ロリー)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of the course is motivate the students to take responsibility for their own learning. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills through English. To discuss and give opinions on topics relevant to young professional people today.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; with an emphasis on business situations.

Dictation will be given as homework.

**【授業項目】**

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials including the dictation homework.

**【教科書】**

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka & Joseph Shaules (Longman ELT)

**【成績の評価方法と評価項目】**

In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week. You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term. A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities and on assignments will be considered. At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30 % of the grade. You need to obtain 60 points to pass this course.

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

**【担当教員】**

Ota Angela (太田アンジェラ)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

Each week classes will be centered on:

- 1) increasing vocabulary
- 2) speaking activities to promote fluency
- 3) reading articles or listening to video segments to increase reading speed and listening comprehension.

**【教科書】**

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

**【成績の評価方法と評価項目】**

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% – a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

**【留意事項】**

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

**【担当教員】**

沼屋 希夫

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

**【授業キーワード】**

読解、語彙、英英辞典、音

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。様々なトピック(科学や文化)に関する文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)と英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

**【授業項目】**

第1週	Introduction
第2週	英英辞典の活用法(1)
第3週	英英辞典の活用法(2)
第4週	Quiz 1, Unit 1: Mrs. Winchester's house
第5週	Unit 2: Lern simpl spelng
第6週	Unit 3: UFOs
第7週	Quiz 2, Unit 4: Baseball
第8週	Unit 5: Houdini
第9週	Unit 6: Going up
第10週	Quiz 3, Unit 7: Airlines
第11週	Unit 8: The red planet
第12週	Unit 9: The Pentagon
第13週	Unit 10: Lemmings
第14週	Review
第15週	Final Exam

**【教科書】**

- (1) New Century Readers Level 4, Ken Methold・Heather Jones・Naomi Waterman(共編), Macmillan Languagehouse
- (2) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

**【担当教員】**

村山 康雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503室

**【授業目的及び達成目標】**

インターネット、コンピュータに関する基礎的な英語の文献を辞書を用いれば読めるようにする。

**【授業キーワード】**

コンピュータ英語、インターネット

**【授業内容及び授業方法】**

まず最初に下記のインターネットに関する題材を扱った教科書を用いてインターネットに関することを英語で理解できるようにする。実際に何度か図書館のコンピュータを用いて教科書で扱う電子メール、ブラウザの使用法などを勉強する。それに加えて、コンピュータの基礎的な知識を英語で理解できるように学習する。なお、これについてはこちらでプリントを様子する。扱う内容の内、CPU、メモリー、大容量記憶装置などについて実物を見ながら理解を深める。その他に、ソフトウェア、プログラム言語、ワープロ、表計算などについても学ぶ。ワープロについては図書館のコンピュータでワープロソフトの「Word」を用い自己紹介の作文を書きながら簡単な使用法を学習する。

**【授業項目】**

インターネットの教科書で扱う内容はおよそ以下の通りである。

What is the Internet?  
What can you do with the Internet?  
E-Mail  
Lists and Newsgroups  
The World Wide Web

**【教科書】**

英語でインターネット (南雲堂)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末テストが7割とする。

**【留意事項】**

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://murayama2/>



**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

It should be borne in mind that this syllabus is highly susceptible to change, given the Instructor's in the importance and central values of a learner-centered approach in which learner autonomy is a guiding principle and ultimate goal. Accordingly, students will be asked—indeed, required—to contribute significantly in shaping the content and character of the class—from the identification of needs and goals to the selection of appropriate and relevant topics, tasks, and assessment vehicles. However, given the aims of the class as stated by the department—i.e., a focus on reading and speaking—this instructor believes that a discussion-based format may best serve the goals of the course. In this format, focus will be placed on weekly readings in one or more topics of interest to the students, and the flow of classroom activity will stem from these readings.

**【授業キーワード】**

student-centered; topic-based; reading; writing

**【授業内容及び授業方法】**

Classroom assessment will be based in large part on student participation—including peer interaction, which the instructor envisions as extending beyond traditional discussion to include peer review and assistance. In this manner, it is hoped that all members of the class will contribute to the creation of a “community of learners” with its own unique character, interests, goals, and dominant modes of interaction. In this paradigm, the instructor will be no less of a learner than the students, and emphasis will be placed on facilitation over instruction. For example, the instructor will ideally take on the role of moderator in discussions generated and propelled by the students themselves. He will also offer suggestions and information, where appropriate, relating to the potential use of learner strategies—for example, the use of clarifying questions in conversation; identifying one's audience and answering the so-called “reporter's formula” questions (Who? What? When? Where? Why? How?) in writing; and anticipating the gist of passages through focus on transitional phrases in reading. Finally, in keeping with the spirit of learner-centered pedagogy, this instructor will entertain and address any and all questions relating to English usage and grammar on an ongoing and fluid basis, through the collection of student questions at the end of each class and the selection of the most popular questions for discussion and instruction in subsequent classes.

**【授業項目】**

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not be limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

Although the instructor has hopes of broadening student horizons and creating an atmosphere in which curiosity about the world around us is fostered, he also understands that students may have more immediate and specific concerns relating to their areas of study. Thus, he is willing to create jointly with the students a syllabus in which issues of particular interest to the scientific community are given the highest priority. Sources may include on-line academic journals as well as the most recent hard-copy issues of magazines such as, e.g., Scientific American. Additionally, if there is sufficient interest, students may be encouraged to draft possible editorial contributions to such journals, particularly after they have been exposed to a number of examples of such writing.

One characteristic of the syllabus that this instructor is contemplating would have the semester divided into two sections of 6 weeks or so. In the first half, students would be exposed to a series of articles of general interest, and class discussions would be organized around weekly themes. The main means of assessment during this portion of the semester would be a series of debates, the rhetoric of which would have been clarified for students during these first weeks. In the latter portion of the semester, examples of scientific writing would provide the impetus for class discussions and would provide a basis for students to author their own short articles, culminating in presentations that would be the major means of assessment during that time.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based primarily on the results of reading comprehension quizzes and student writing.

**【担当教員】**

村上 直久

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟506室

**【授業目的及び達成目標】**

リスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

**【授業キーワード】**

ニュース英語

**【授業内容及び授業方法】**

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに(1)ビデオを見る(2)ボキャブラリーを学習する(3)教科書の本文の購読(4)練習問題(5)最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、簡単なリスニング・テストを行う。

**【教科書】**

ABC World News(5)金星堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

**【留意事項】**

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

**【担当教員】**

田中 章

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

Chapter 6, 7, 9 (予備はChapter 10)

**【教科書】**

ジョアン・ペロケティ、千葉剛、三瓶眞弘、神康介 「エコライフと経済」 南雲堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

本試験の点数と平常点を加味する。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

**【担当教員】**

Ota Angela (太田アンジェラ)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

Each week classes will be centered on:

- 1) increasing vocabulary
- 2) speaking activities to promote fluency
- 3) reading articles or listening to video segments to increase reading speed and listening comprehension.

**【教科書】**

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

**【成績の評価方法と評価項目】**

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% – a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

**【留意事項】**

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

**【担当教員】**

Haga Lori (羽賀ロリー)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of the course is motivate the students to take responsibility for their own learning. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills through English. To discuss and give opinions on topics relevant to young professional people today.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; with an emphasis on business situations.

Dictation will be given as homework.

**【授業項目】**

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials including the dictation homework.

**【教科書】**

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka & Joseph Shaules (Longman ELT)

**【成績の評価方法と評価項目】**

In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week. You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term. A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades.

Active participation in the class activities and on assignments will

be considered. At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30 % of the grade. You need to obtain 60

points to pass this course.

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

**【担当教員】**

沼屋 希夫

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

**【授業キーワード】**

読解、語彙、英英辞典、音読

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。様々なトピック(科学や文化)に関する文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)と英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

**【授業項目】**

第1週	Introduction
第2週	Unit 11: Astrology
第3週	Unit 12: Thumbs up!
第4週	Unit 13: Tutankhamen's tomb
第5週	Quiz 1, Unit 14: Detective stories
第6週	Unit 15: Pasta
第7週	Unit 16: Pirates
第8週	Quiz 2, 英英辞典の活用法(1)
第9週	英英辞典の活用法(2)
第10週	Unit 17: Agatha Christie saves a life
第11週	Unit 18: False teeth
第12週	Unit 19: Diamonds
第13週	Quiz 3
第14週	Review
第15週	Final Exam

**【教科書】**

- (1) New Century Readers Level 4, Ken Methold・Heather Jones・Naomi Waterman(共編), Macmillan Languagehouse
- (2) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

**【担当教員】**

村山 康雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503室

**【授業目的及び達成目標】**

インターネット、コンピュータに関する基礎的な英語の文献を辞書を用いれば読めるようにする。

**【授業キーワード】**

コンピュータ英語、インターネット

**【授業内容及び授業方法】**

まず最初に下記のインターネットに関する題材を扱った教科書を用いてインターネットに関することを英語で理解できるようにする。実際に何度か図書館のコンピュータを用いて教科書で扱う電子メール、ブラウザの使用法などを勉強する。それに加えて、コンピュータの基礎的な知識を英語で理解できるように学習する。なお、これについてはこちらでプリントを様子する。扱う内容の内、CPU、メモリー、大容量記憶装置などについて実物を見ながら理解を深める。その他に、ソフトウェア、プログラム言語、ワープロ、表計算などについても学ぶ。ワープロについては図書館のコンピュータでワープロソフトの「Word」を用い自己紹介の作文を書きながら簡単な使用法を学習する。

**【授業項目】**

インターネットの教科書で扱う内容はおおよそ以下の通りである。

What is the Internet?  
What can you do with the Internet?  
E-Mail  
Lists and Newsgroups  
The World Wide Web

**【教科書】**

英語でインターネット (南雲堂)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

**【留意事項】**

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://murayama2/>

**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

It should be borne in mind that this syllabus is highly susceptible to change, given the Instructor's in the importance and central values of a learner-centered approach in which learner autonomy is a guiding principle and ultimate goal. Accordingly, students will be asked—indeed, required—to contribute significantly in shaping the content and character of the class—from the identification of needs and goals to the selection of appropriate and relevant topics, tasks, and assessment vehicles. However, given the aims of the class as stated by the department—i.e., a focus on reading and speaking—this instructor believes that a discussion-based format may best serve the goals of the course. In this format, focus will be placed on weekly readings in one or more topics of interest to the students, and the flow of classroom activity will stem from these readings.

**【授業キーワード】**

student-centered; topic-based; reading; writing

**【授業内容及び授業方法】**

Classroom assessment will be based in large part on student participation—including peer interaction, which the instructor envisions as extending beyond traditional discussion to include peer review and assistance. In this manner, it is hoped that all members of the class will contribute to the creation of a “community of learners” with its own unique character, interests, goals, and dominant modes of interaction. In this paradigm, the instructor will be no less of a learner than the students, and emphasis will be placed on facilitation over instruction. For example, the instructor will ideally take on the role of moderator in discussions generated and propelled by the students themselves. He will also offer suggestions and information, where appropriate, relating to the potential use of learner strategies—for example, the use of clarifying questions in conversation; identifying one's audience and answering the so-called “reporter's formula” questions (Who? What? When? Where? Why? How?) in writing; and anticipating the gist of passages through focus on transitional phrases in reading. Finally, in keeping with the spirit of learner-centered pedagogy, this instructor will entertain and address any and all questions relating to English usage and grammar on an ongoing and fluid basis, through the collection of student questions at the end of each class and the selection of the most popular questions for discussion and instruction in subsequent classes.

**【授業項目】**

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not be limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

Although the instructor has hopes of broadening student horizons and creating an atmosphere in which curiosity about the world around us is fostered, he also understands that students may have more immediate and specific concerns relating to their areas of study. Thus, he is willing to create jointly with the students a syllabus in which issues of particular interest to the scientific community are given the highest priority. Sources may include on-line academic journals as well as the most recent hard-copy issues of magazines such as, e.g., Scientific American. Additionally, if there is sufficient interest, students may be encouraged to draft possible editorial contributions to such journals, particularly after they have been exposed to a number of examples of such writing.

One characteristic of the syllabus that this instructor is contemplating would have the semester divided into two sections of 6 weeks or so. In the first half, students would be exposed to a series of articles of general interest, and class discussions would be organized around weekly themes. The main means of assessment during this portion of the semester would be a series of debates, the rhetoric of which would have been clarified for students during these first weeks. In the latter portion of the semester, examples of scientific writing would provide the impetus for class discussions and would provide a basis for students to author their own short articles, culminating in presentations that would be the major means of assessment during that time.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based primarily on the results of reading comprehension quizzes and student writing.



**【担当教員】**

村上 直久

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟506室

**【授業目的及び達成目標】**

リスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

**【授業キーワード】**

ニュース英語

**【授業内容及び授業方法】**

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに(1)ビデオを見る(2)ボキャブラリーを学習する(3)教科書の本文の購読(4)練習問題(5)最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、簡単なリスニング・テストを行う。

**【教科書】**

ABC World News(5)金星堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

**【留意事項】**

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

**【担当教員】**

村山・ドライアー・石岡 精三・中村善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503,510室(村山・ドライアー), 化学経営情報1号棟507室(石岡)  
化学経営情報1号棟505室(中村)

**【授業目的及び達成目標】**

選択科目であり、技能別に関心のある分野を学習しつつ、全般的な英語力の伸長を目標とする。

**【授業キーワード】**

語彙、文法構造、読解、英作文、聞き取り

**【授業内容及び授業方法】**

英文法、英作文、聞き取り等の技能別分野に3クラス開講する。英文法のクラスでは基礎的な語彙、基本的な英文法をを学習する。英作文のクラスでは英文法の理解に基づき、語順などを含む基礎的な作文能力を身につける。聞き取りのクラスでは簡単な聞き取りの練習を行いつつ、読む能力の向上を図る。学生は自分の関心のあるクラスを受講することとなる。

**【授業項目】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【教科書】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【参考書】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【成績の評価方法と評価項目】**

最終試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価

**【留意事項】**

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、読解の基礎である文法事項を練習問題を解きながら学習する。また、辞書の使い方も学ぶ。また、これと平行して青少年向けの百科事典などからの文章を読み、学習した文法、辞書の使用法の理解を深め、実際に応用できるようにする。なお、学習する主な文法事項は下記の内容である。

自動詞と他動詞  
5文型  
名詞(代名詞)  
助動詞  
不定詞  
分詞  
動名詞  
句と節  
関係詞

(2) 書く技能に関しては図書館のコンピュータを用いて自己紹介の作文を書く。英語を書くことを学ぶと共に、コンピュータ、ワープロソフトの使用法なども学習する。  
その他の技能に関しては時間の許す限りこちらで用意した教材を用いて勉強する。

【教科書】

大学基本英文法(金星堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、小テスト、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

**【担当教員】**

石岡 精三

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞(3回)
7. 動名詞(1回)

**【教科書】**

小中秀彦:大学生のための基礎英文法, 成美堂  
プリント

**【参考書】**

James H. M. Webb:日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

**【成績の評価方法と評価項目】**

最終試験-50%, 小テスト-20%, 各自が作成する単語帳からのテスト-20%, レポート-10%

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。単語帳の Format は、初回の授業で指示する。

**【担当教員】**

村上 直久

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟506室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

先端技術がもたらす光と影の側面を扱った文章を読む。毎回の授業の初めに簡単なリスニングテストを行う。

**【教科書】**

Breakthrough  
=Expanding the boundaries of Science=  
明日を拓く科学の夢  
発行所 南雲堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

評価点は期末に行う(1)教科書本文の和訳(辞書使用不可)、(2)応用問題として先生が選ぶ科学読み物の和訳(辞書使用可)と(3)リスニング・テストの合計とし、割合は(1)が50%、(2)が25%、(3)が25%とする。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve their four skills of reading, writing, speaking and listening. Finally, once the students have prepared their topics, the class will move onto the discussion phase of the course.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based in large part on general participation in the class.

**【留意事項】**

Placement Test により、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

Valerie. McGown(ヴァレリー マクガウン)

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟404室

**【授業目的及び達成目標】**

Comprehension, listening, speakingを中心に、英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。英語で聞き、英語で答える力の養成を目指す。

**【授業キーワード】**

comprehension, listening, speaking, 文法構造、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特にcomprehension, listening, speakingに力点がおかれる。このスキルを強くするための基礎力養成をめざして、発音の練習、spelling、語彙、文法構造、等を学習する。

**【教科書】**

Tuseth, Tony, Hiroto Ohyagi and Hironori Koyama  
"Basics in Technical English" Newbury House/ Shohakusha.

**【成績の評価方法と評価項目】**

宿題:30%  
クラステスト:30%  
末期テスト:40%

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

中村 善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟505

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

第1週	Introduction
第2週	Unit 1: Electronic Ink
第3週	Unit 2: Botox
第4週	Unit 3: Earthquake Prediction
第5週	Unit 4: Fuel Cells
第6週	Unit 5: Traveling
第7週	Unit 6: Violence Gene
第8週	Unit 7: Smart Buildings
第9週	Unit 8: Asteroid Busting
第10週	Unit 9: Emerging Diseases
第11週	Unit 10: Atlantic Heat Conveyor Currents
第12週	Unit 11: Unexceptional Beauty
第13週	Unit 12: Flight Simulators
第14週	Unit 13: Return of Mammoth
第15週	期末試験

**【教科書】**

Cutting Edge in Science(金星堂)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席点 20%, 平常点 40%, 期末試験 40%

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
毎回、辞書を持参すること(電子辞書可)



**【担当教員】**

田中 章

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する

**【授業項目】**

第 5,7,12 章 (予備は第 14 章)

**【教科書】**

瀬谷 幸男/高津 昌宏/平井 清子/和治元 義博/デイビッド・ブルックス(共著)「明日を拓く科学の夢」南雲堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

本試験の点数と平常点を加味する。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

**【担当教員】**

早川 正子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

第1週－第14週

Scientific Article No.1-No.14

Listening Practice No.1-No.14

新聞、刊行物、書籍、インターネット等から得る情報をもとに、科学技術をテーマとする多様な最新の記事を読む、聞く、話す、書く、等の演習を行う。

To read, listen, talk, and write about a variety of current scientific articles and up-dated news form newspapers, periodicals, books, internet,etc.

第15週 期末テスト/Final Exam

**【教科書】**

購入は不要。毎回プリント教材を配布する。

Printed materials are provided.

**【参考書】**

毎回、辞書を必ず持参すること。

Be sure to bring your dictionary.

**【成績の評価方法と評価項目】**

毎回の小テスト、期末試験、出席状況、授業参加態度を総合評価する。

Evaluation is based on quizzes, final exam, attendance ratem, & participation in classroom activities.

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

隅田 朗彦

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

毎回の授業で以下の活動を行う。

1. 速読演習
2. 精読演習
3. リスニング演習

**【教科書】**

1. 『INTERMEDIATE Faster Reading 速読の実践演習』 成美堂
2. この他に、適宜プリントが配布される。

**【参考書】**

特になし。

**【成績の評価方法と評価項目】**

以下の3点について総合的に評価する。

1. 学期末総合試験
2. 小テスト
3. 課題提出

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

英和辞典を持参すること。電子辞書でもかまわないが、訳語だけでなく用例の入っているものを推薦する。

**【担当教員】**

高橋 美智子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

- 第1週 Chapter 1 Falling in Love 2
- 第2週 Chapter 2 An American Breakfast in Kyoto
- 第3週 Chapter 3 You are the Sunshine of My Life
- 第4週 Chapter 4 Friends are Important
- 第5週 Chapter 5 Hair and Your Personality
- 第6週 Chapter 6 The Tree of Life
- 第7週 Chapter 7 Fashion Expresses Your Identity
- 第8週 Chapter 8 Peace is Beautiful
- 第9週 Chapter 9 Candles in the Dark
- 第10週 Chapter 10 Eating Healthy
- 第11週 Chapter 11 Listen to the Little Voice
- 第12週 Chapter 12 Everybody Needs a Hero
- 第13週 Chapter 13 A Beautiful Letter
- 第14週 Chapter 14 Follow Your Dream
- 第15週 試験

**【教科書】**

Rapid Reading with TOEIC Test Vocabulary by Joan McConnell and Shuichi Takeda (SEIBIDO)

**【成績の評価方法と評価項目】**

期末テスト(70%)。講義内での小テストと提出物(20%)。  
授業に取り組む態度(発言、質問回数等)も評価に加味する(10%)。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
辞書を持ってくること。授業中集中すること。復習すること。欠席しないこと。  
(欠席した場合は友人に聞くなどして、各自責任を持って補うこと。)

**【担当教員】**

Haga Lori (羽賀ロリー)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of the course is motivate the students to take responsibility for their own learning. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills through English. To discuss and give opinions on topics relevant to young professional people today.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; with an emphasis on business situations. Dictation will be given as homework.

**【授業項目】**

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials including the dictation homework.

**【教科書】**

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka & Joseph Shaules (Longman ELT)

**【成績の評価方法と評価項目】**

In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week. You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term. A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities and on assignments will

be considered. At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30 % of the grade. You need to obtain 60 points to pass this course.

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

**【担当教員】**

沼屋 希夫

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

**【授業キーワード】**

読解、語彙、英英辞典、音読

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。様々なトピック(月曜「科学や文化」又は木曜「社会、文化、自然」)に関する文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)や英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

**【授業項目】**

第1週 Introduction  
第2週 英英辞典の活用法(1)  
第3週 英英辞典の活用法(2)  
第4週～第13週 英語の名文の聞き取り、精読、対話文の練習、語彙力強化  
第14週 Review  
第15週 Final Exam

**【教科書】**

Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

**【成績の評価方法及び評価項目】**

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

**【担当教員】**

Ota Angela (太田アンジェラ)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

Each week classes will be centered on:

- 1) increasing vocabulary
- 2) speaking activities to promote fluency
- 3) reading articles or listening to video segments to increase reading speed and listening comprehension.

**【教科書】**

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

**【成績の評価方法と評価項目】**

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% - a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

**【留意事項】**

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

**【担当教員】**

村山 康雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503室

**【授業目的及び達成目標】**

ある程度内容のある文章を日本語に一文、一文訳さないでおおよその意味を把握する練習を行う。それに加えて自然な速さで読まれたニュースが聞き取れる練習を行う。

**【授業キーワード】**

速読、内容把握、聞き取り

**【授業内容及び授業方法】**

下記の教科書を用い、2ページ程度の英文を読み、日本語に訳することなく、内容に関するT/F問題、語彙問題等のさまざまな形式の質問に答える練習を行う。英語を聞き取る練習も含まれる。なお学生諸君が本文の文法理解に困難を感じるようであれば随時説明、学習を行う。これに加えて、自然な英語で読まれた簡単な内容の放送英語(ニュース)のディクテーション(書き取り)の練習を行う。この目的のために作られた教材(こちらで用意)を用いる。学生諸君の進み具合次第で、これに加えて初歩の英語学習者向けに放送されているVoice of America のspecial English のニュースを聞き取る訓練を行う。この訓練にも相当の時間を使う。

**【授業項目】**

なお、教科書で扱う題材は以下の通りである。

Elephants: Gentle Giants of the Earth  
The Extinction of the Dinosaurs: What happened?  
The All-American Diner  
The Birth of the United States of America  
Twins: How Alike Are They?  
Secondhand Smoke  
A Healthy Diet for Everyone  
Oil: An Important World Resource  
Earthquakes: What Are They and How Do They Happen?  
Afred Nobel: A Man of Peace  
Marie Curie: A 20th-Century Woman

**【教科書】**

Insights for Today (松柏社)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席、授業への参加、小テストが2割、期末試験が8割とする。

**【留意事項】**

聞き取りの訓練も含まれるので授業中は神経を集中すること。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://murayama2/>



【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞(2回)
3. 過去分詞の意味(2回)
4. 不定詞の意味(2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味(2回)
6. 完了時制(1回)
7. 語順のまとめ(2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む)(3回)

【教科書】

随時, プリントを配布する。  
安河内哲也: TOEIC TEST スピードマスター(自習用)(Jリサーチ出版)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-50%, 小テスト-20%, 単語帳からのテスト-20%, レポート-10%  
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

**【担当教員】**

村山・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503,510室

**【授業目的及び達成目標】**

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of interest to students. I expect students to help me identify topics they want to talk about.

**【授業項目】**

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of interest to students. I expect students to help me identify topics they want to talk about.

**【授業項目】**

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

**【担当教員】**

中村 善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟505

**【授業目的及び達成目標】**

日本人が間違いやすい文法事項を正しく理解した上で、多岐にわたる文章を英語で書くことができることを目標とする。

**【授業キーワード】**

英作文、文法、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

使用テキストは文法・英訳の演習問題から構成されている。英訳問題は受講生に黒板に書いてもらうので、各自事前の予習を確実にを行うこと。随時、予習の有無をチェックし、その結果を平常点に含める。

**【授業項目】**

第1章	Introduction
第2章	Unit 1
第3章	Unit 2
第4章	Unit 3
第5章	Unit 4
第6章	Unit 5
第7章	Unit 6
第8章	Unit 7
第9章	Unit 8
第10章	Unit 9
第11章	Unit 10
第12章	Unit 11
第13章	Unit 12
第14章	Unit 13
第15章	期末試験

**【教科書】**

Common Errors in English Writing—Third Edition (マクミラン・ランゲージハウス)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席点(20%)、平常点(40%)、期末試験(40%)  
但し、欠席が授業回数の3分の1以上の受講生には単位の認定を行わない。

**【留意事項】**

和英辞典を持参のこと(電子辞書可)。

【担当教員】

鞍掛 哲治

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

TOEICの問題を通して、基本的なリスニング、文法、読解力の養成を計る。また、TOEICの問題、並びに問題形式に慣れるようにする。さらに、基本的な語彙力が不足している学生が多いので、語彙力のアップを目指す。この授業終了時には、TOEICの点数が450以上になることを目標とする。

【授業キーワード】

TOEIC、listening、grammar、reading、vocabulary

【授業内容及び授業方法】

テキストは、リスニング・文法・読解の演習問題から構成されている。各自【授業項目】を参照し、予習して出席すること。授業中は各自1問ずつ解答を言ってもらいます。また、毎回授業の最初に単語テストを実施するので、準備を怠らないよう希望する。

【授業項目】

- 第1回 Introduction, TOEICの小test
- 第2回 教科書(1章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞  
単語テスト(1) Word Navi pp.14~47
- 第3回 教科書(2章) Listening 状況描写 Reading 形容詞と副詞  
単語テスト(2) Word Navi pp.48~81
- 第4回 教科書(3章) Listening 位置関係 Reading 前置詞と冠詞  
単語テスト(3) Word Navi pp.82~117
- 第5回 教科書(4章) Listening 一般疑問文 Reading 接続詞と関係詞  
単語テスト(4) Word Navi pp.118~151
- 第6回 教科書(5章) Listening 特殊疑問文 Reading 主語と動詞の一致  
単語テスト(5) Word Navi pp.152~187
- 第7回 教科書(6章) Listening 肯定文その他 Reading 動詞の語法と準動詞  
単語テスト(6) Word Navi pp.188~221
- 第8回 中間試験  
単語テスト(7) Word Navi pp.222~247
- 第9回 教科書(7章) Listening 話題/提案 Reading 助動詞と時制・仮定法  
単語テスト(8) Word Navi pp.14~47
- 第10回 教科書(8章) Listening 場面・職業 Reading 冠詞と数の概念  
単語テスト(9) Word Navi pp.48~81
- 第11回 教科書(9章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞  
単語テスト(10) Word Navi pp.82~117
- 第12回 教科書(10章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞  
単語テスト(11) Word Navi pp.118~151
- 第13回 教科書(11章) Listening 広告・宣伝 Reading 手紙・FAX・メモ  
単語テスト(12) Word Navi pp.152~187
- 第14回 教科書(12章) Listening 講義・会議 Reading 記入用紙・統計資料  
単語テスト(13) Word Navi pp.188~221
- 第15回 期末試験  
単語テスト(14) Word Navi pp.222~247

【教科書】

Operation TOEIC(r) Master (松柏社) 石井隆之他著 1700円  
Word Navi 3000 (啓林館) 英語授業研究会FEEL編 820円

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験[中間・期末] (35% x 2 =70%)、毎回の単語・宿題テスト(30%)

\*試験実施方法及び評価基準について

1. 定期試験[中間・期末]、単語・宿題テストは、TOEICに倣ってマークシートを用いて実施する。
2. 欠席が授業回数の3分の1以上の学生は、単位の認定を行わない。

【留意事項】

1. 【授業項目】は受講者の習熟度、人数等により変更になる場合があります。その場合は、事前に連絡します。
2. 追試は実施しません。
3. 質問等は、授業終了後のみ受け付けます。
4. TOEIC Japanの公式ページ <http://www.toEIC.or.jp/index.html> です。

【担当教員】

近藤 多香子

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

最近マスメディアで取り上げられている身近な話題を扱った科学評論を読みながら、英文の読解力養成を図る。また基本的な語彙の定着を目指す。

【授業キーワード】

読解力養成

【授業内容及び授業方法】

授業は1週1章のペースで進める。各章は本文とExercisesから構成されている。予習時には本文の読解に加えてPre-reading Task, Exercises の1と2をかかさず解き、授業に臨むこと。また各回の授業始めに、前回の章で扱った語彙を問う小テストを実施する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction, Chapter 2
- 第2週 Chapter 2
- 第3週 Chapter 4
- 第4週 Chapter 5
- 第5週 Chapter 8
- 第6週 Chapter 10
- 第7週 中間試験
- 第8週 中間試験の解説、Chapter 12
- 第9週 Chapter 13
- 第10週 Chapter 14
- 第11週 Chapter 15
- 第12週 Chapter 17
- 第13週 Chapter 18
- 第14週 Chapter 19
- 第15週 期末試験

【教科書】

BREAKTHROUGH - Expanding the Boundaries of Science by Yukio Seya and others (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

中間・期末試験(30%×2=60%)、小テスト(20%)、平常点(20%)

試験実施方法および評価基準について

- ・定期試験は中間と期末の2回実施する。範囲は前回までの授業の中から出題する。教科書、辞書等の持込は許可しない。
- ・欠席が授業回数の3分の1以上、または中間・期末試験のいずれかを受験しなかった学生の評価は59点以下とする。

【留意事項】

評価は上記の通り。追試等はありません。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

科学技術論文読解への導入として、すでに把握できている専門的な内容を英語を通じて学習する。文法・構文に関するさらなる理解と基本単語と専門語彙の習得により、英語論文を正確に読むための基礎力を養成する。

【授業キーワード】

英文構造, 化学英語, 科学技術英語

【授業内容及び授業方法】

専門の教官と英語教官が共同で行う授業で、化学に関する基礎的な内容を表す英文をテキストとして用いる。最初に、専門の教官が日常語彙を含め重要な単語の意味と発音を提示し、テキスト内容に関する簡単な導入を行う。単語テストが行われる。次に、英語教官が文法上・語法上の Point を簡潔に説明し、演習によって要点を再確認する。語法テストが行われる。さらに、学習事項を含む新たな英文を部分作文(虫食い)によって完成する。

当初は比較的短い英文を用い、極力全文訳を検討する。学習の進行につれて、問題となる箇所だけに検討を加え、多読を目指す。全文訳をレポートとして提出してもらうこともある。

学生それぞれが、各自の単語帳を作成する(書式は、最初の授業で提示する)。各自の単語帳に基づく単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 発音と発音記号(0.5回)
2. 名詞 Block(1.5回)
3. 疑問文構造(直接疑問 vs. 間接疑問)(1回)
4. 後置修飾(1)(形容詞だけでなく、分詞の意味・用法も含まれる)(2回)
5. 分詞表現と関係詞(3回)
6. 復習(1回)
7. It を用いた強調構文(1回)
8. To 不定詞の意味と用法(3回)
9. 動名詞の意味と用法(特に、前置詞の目的語として)(1回)
10. 後置修飾(2)(To 不定詞が用いられる場合)(1回)

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

奥津 文夫: 日本人の間違いやすい英語表現、三修社

【成績の評価方法と評価項目】

単語テスト-20%、語法テスト(虫食いによる英文完成を含む)-30%、レポート・宿題-10%、単語帳からの単語試験-20%、最終試験-20%。

【留意事項】

化学系の学生が優先して受講できる。  
毎回、英和辞典を持参するように。

**【担当教員】**

青木・ドライバー

**【教員室または連絡先】**

機械建設1号棟602室, 化学経営情報1号棟510室

**【授業目的及び達成目標】**

Mechanical Engineering—It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will be organized more or less along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the subject of mechanical engineering. For his part, the English native speaker will seek out and present to students examples of practical English-language usage in this field. These might include, for example, articles concerned with key topics and advertisements in which important terminology is given practical application. Students will be provided, as well, with both advice from the instructor and opportunities to engage in self-guided attempts to induce general rules of language usage in the field of mechanical engineering—e.g., the appropriate use of particular verbs; the role of the passive voice in describing experiments; etcetera. Finally, students will be encouraged to describe—both orally and in writing—the content of ongoing research and experiences in the field. Every effort will be made to find a forum for students to post or publish their writing, possibly in an on-line journal.

**【授業キーワード】**

presentations; summaries; vocabulary; collocations

**【授業内容及び授業方法】**

Students will be asked to prepare multiple drafts of a document in which they describe a mechanical process. They will later be called upon to make an oral presentation on this topic. In support of this project, students will be given a number of small exercises in which they are exposed to natural English for scientific purposes.

**【授業項目】**

Descriptive writing and re-writing  
Vocabulary enrichment  
Summary writing based on listening  
Job searches and resumes

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based primarily on student summaries of the oral presentations that they listen to, as well as on their written and oral presentation work and small in-class exercises.



**【担当教員】**

村山 康雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

(1) 読む技能に関しては、まず容易な英語で書かれている総合教材を用い、一文一文日本語に訳さず、おおよその内容を把握する練習を行う。およそ1ページほどの本文に関して、さまざまな形式の内容理解を試す問題があり、それらのいくつかを学生諸君の様子を見ながら進めていく。それと同時に科学に関するある程度むずかしいと思われる文書をきちんと読める練習も行う。青少年向けの百科事典等から題材を求める。ここで文法の理解、英和辞典の引き方等を学習する。(2) 聞く能力をつけるために何度かVoice of Americaで放送された簡単な科学を題材にした教材(プリント)を用い勉強する。(3) 書く勉強は図書館のコンピュータを用い、自己紹介の作文を書く。同時に簡単なインターネット・ワープロの使用方も学習する。

なお、読む練習で用いる教科書の内容は以下の通りである。

1. Sharks: Useful Hunters of the Sea
2. A Brief History of Horses with Humans
3. Learning a Second Language
4. Food and Culture
5. The Importance of Exercise for Children
6. The New York City Marathon: A World Race
7. Margaret Mead: The World Was Her Home
8. Louis Pasteur: A Modern-Day Scientist
9. The Origin of the Moon
10. Maps: The Keys to Our World
11. Saving Lives with Weather Forecasting
12. Clues and Criminal Investigation

**【教科書】**

Themes for Today (松柏社)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割となる。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【参照ホームページアドレス】**

<http://murayama2/>

**【担当教員】**

石岡 精三

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞(3回)
7. 動名詞(1回)

**【教科書】**

小中秀彦: 大学生のための基礎英文法, 成美堂(授業用)  
登美博之: 語順が身につく英作文(レポート用)  
プリント(レポート用)

**【参考書】**

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

**【成績の評価方法と評価項目】**

最終試験-40%, 小テスト-20%, 各自が作成する単語帳からのテスト-20%, レポート-20%

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。単語帳の Format については、最初の授業で指示する。

**【担当教員】**

村上 直久

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟506室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

先端科学技術の光と影の部分を取ったエッセイの英文を読む。また、毎回の授業の初めに簡単なリスニング・テストを行う。

**【教科書】**

Breakthrough  
=Expanding the boundaries of Science=  
明日を拓く科学の夢  
発行所 南雲堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

評価点は期末に行う(1)教科書本文の和訳(辞書使用不可)、(2)応用問題として先生が選ぶ科学読み物の和訳(辞書使用可)と(3)リスニング・テストの合計とし、割合は(1)が50%、(2)が25%、(3)が25%とする。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based in large part on general participation in the class.

**【留意事項】**

Placement Test により、受講クラスが決定される。

**【担当教員】**

中村 善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟505

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

第1週	Introduction, Unit 1
第2週	Unit 2
第3週	Unit 3
第4週	Unit 4
第5週	Unit 5
第6週	Unit 6
第7週	Unit 7
第8週	Unit 8
第9週	Unit 9
第10週	Unit 10
第11週	Unit 11
第12週	Unit 12
第13週	Unit 13
第14週	Unit 14
第15週	期末試験

**【教科書】**

ABC World News (5) 金星堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席 20%, 平常点 40%(小テストを含む), 期末試験 40%

**【留意事項】**

授業に際して、辞書を持参すること(電子辞書可)

**【担当教員】**

田中 章

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

第 15,17, 19章

**【教科書】**

瀬谷 幸男/高津 昌宏/平井 清子/和治元 義博/デイビッド・ブルックス(共著)「明日を拓く科学の夢」南雲堂

**【成績の評価方法と評価項目】**

本試験の点数と平常点を加味する。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

**【担当教員】**

早川 正子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

第1週－第14週

Scientific Article No.1-No.14

Listening Practice No.1-No.14

新聞、刊行物、書籍、インターネット等から得る情報をもとに、科学技術をテーマとする多様な最新の記事を読む、聞く、話す、書く、等の演習を行う。

To read, listen, talk, and write about a variety of current scientific articles and up-dated news form newspapers, periodicals, books, internet, etc.

第15週 期末テスト/Final Exam

**【教科書】**

購入は不要。毎回プリント教材を配布する。

Printed materials are provided.

**【参考書】**

毎回、辞書を必ず持参すること。

Be sure to bring your dictionary.

**【成績の評価方法と評価項目】**

毎回の小テスト、期末試験、出席状況、授業参加態度を総合評価する。

Evaluation is based on quizzes, final exam, attendance ratem, & participation in classroom activities

**【担当教員】**

隅田 朗彦

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

毎回の授業で以下の活動を行う。

1. 速読演習
2. リスニング演習

**【教科書】**

1. 未定
2. この他に、適宜プリントが配布される。

**【参考書】**

特になし。

**【成績の評価方法と評価項目】**

以下の3点について総合的に評価する。

1. 学期末総合試験
2. 小テスト
3. 課題提出

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

英和辞典を持参すること。電子辞書でもかまわないが、訳語だけでなく用例の入っているものを推薦する。



**【担当教員】**

高橋 美智子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

- 第1週 Unit 1 Student Life (1)
- 第2週 Unit 2 Student Life (2)
- 第3週 Unit 3 Our Future
- 第4週 Unit 4 Review Practice
- 第5週 Unit 5 Happening and Experiences
- 第6週 Unit 6 Marriage and Work
- 第7週 Unit 7 Surprises
- 第8週 Unit 8 Review Practice
- 第9週 試験
- 第10週 Unit 9 Believe It or Not
- 第11週 Unit 10 Personal and Social Problems (1)
- 第12週 Unit 11 Disasters
- 第13週 Unit 12 Personal and Social Problems (2)
- 第14週 Unit 13 Review Practice
- 第15週 試験

**【教科書】**

Topics and Tenses by Edith Newman / Toru Nishimoto (NAN'UN-DO)

**【成績の評価方法と評価項目】**

テスト(70%)。講義内での小テストと提出物(20%)。  
授業に取り組む態度(発言、質問回数等)も評価に加味する(10%)。

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。  
辞書を持ってくること。授業中集中すること。復習すること。欠席しないこと。  
(欠席した場合は友人に聞くなどして、各自責任を持って補うこと。)

**【担当教員】**

Haga Lori (羽賀ロリー)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of the course is motivate the students to take responsibility for their own learning. To develop Positive Critical Thinking and Problem Solving Skills through English. To discuss and give opinions on topics relevant to young professional people today.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

In class I will concentrate on spoken English, giving you the opportunity to use real English. We will spend a lot of time discussing topics in pairs and groups.

You will be encouraged to explain and describe things as simply and clearly as possible and to persevere to adapt your language until the meaning is understood.

Practical task based exercises and video and audio tapes will be used to stimulate pairwork, role play etc; with an emphasis on business situations. Dictation will be given as homework.

**【授業項目】**

The schedule is based on Impact VALUES. I intend to finish one unit every week. There will also be discussions based upon other materials including the dictation homework.

**【教科書】**

Impact VALUES By Richard R Day & Junko Yamanaka & Joseph Shaules (Longman ELT)

**【成績の評価方法と評価項目】**

In grading I will consider homework as a basic element. You will be given a short dictation to be completed as homework every week. You are required to attend at least two-thirds of the classes in a term. A quiz will be given at the beginning of each class and the results will be considered for grades. Active participation in the class activities and on assignments will

be considered. At the end of the term, an exam will be given. The result of this test will be regarded for 30 % of the grade. You need to obtain 60 points to pass this course.

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

Please purchase the textbook at your earliest convenience. Also, have a 60 minute cassette tape ready for your homework assignments and a dictionary.

**【担当教員】**

沼屋 希夫

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

**【授業キーワード】**

読解、語彙、英英辞典、音読

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。4つのテーマ(文化横断的視点、アメリカ人の生活様式、環境問題、動物)について、それぞれ3つの文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)と英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

**【授業項目】**

第1週 Introduction  
第2週 英英辞典の活用法(1)  
第3週 英英辞典の活用法(2)  
第4週～第13週 英語の名文の聞き取り、精読、対話文の練習、語彙力強化  
第14週 Review  
第15週 Final Exam

**【教科書】**

Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席・授業への貢献度—30%、小テスト—20%、最終試験—50%

**【担当教員】**

Ota Angela (太田アンジェラ)

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

The aim of this course is to increase student motivation towards, and responsibility for their study of English. The class will be asked to decide on the things that they both need to and would like to be able to use English for. Course content will be determined by these needs and wants.

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

Each week classes will be centered on:

- 1) increasing vocabulary
- 2) speaking activities to promote fluency
- 3) reading articles or listening to video segments to increase reading speed and listening comprehension.

**【教科書】**

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

**【成績の評価方法と評価項目】**

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% – a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

**【留意事項】**

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

**【担当教員】**

古川 登美子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師 E-mail: furukawa@duck.niigataum.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

**【授業キーワード】**

読解、文法構造、段落構成、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点が置かれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

**【授業項目】**

1. 「読む」技能に関しては、パラグラフリーディングの修得を目標とする。文法事項については、受身、関係詞、複文、数字を必要に応じて補強する。
2. 「聞く」に関しては、テキスト本文の聞き取り、書き取り、またクラスメート同士のペア活動で十分に行う。
3. 「話す、書く」技能については、テキストのダイアログおよび毎時間の課題を通して行う。

**【教科書】**

Critical Insight on Contemporary Issues (成美堂)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席点10点、授業中の活動への積極的な取り組み(予習・発言)10点、小テストの結果20点、定期試験結果60点

**【留意事項】**

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503室

【授業目的及び達成目標】

ある程度内容のある文章を日本語に一文、一文訳さないでおよその意味を把握する練習を行う。それに加えて自然な速さで読まれたニュースが聞き取れる練習を行う。

【授業キーワード】

速読、内容把握、聞き取り

【授業内容及び授業方法】

下記の教科書を用い、2ページ程度の英文を読み、日本語に訳することなく、内容に関するT/F問題、語彙問題等のさまざまな形式の質問に答える練習を行う。英語を聞き取る練習も含まれる。なお学生諸君が本文の文法理解に困難を感じるようであれば随時説明、学習を行う。これに加えて、自然な英語で読まれた簡単な内容の放送英語(ニュース)のディクテーション(書き取り)の練習を行う。この目的のために作られた教材(こちらで用意)を用いる。学生諸君の進み具合次第で、これに加えて初歩の英語学習者向けに放送されているVoice of America のspecial English のニュースを聞き取る訓練を行う。この訓練にも相当の時間を使う。

【授業項目】

なお、教科書で扱う題材は以下の通りである。

Elephants: Gentle Giants of the Earth  
The Extinction of the Dinosaurs: What happened?  
The All-American Diner  
The Birth of the United States of America  
Twins: How Alike Are They?  
Secondhand Smoke  
A Healthy Diet for Everyone  
Oil: An Important World Resource  
Earthquakes: What Are They and How Do They Happen?  
Alfred Nobel: A Man of Peace  
Marie Curie: A 20th-Century Woman

【教科書】

Insights for Today(松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への参加、小テストが2割、期末試験が8割とする。

【参照ホームページアドレス】

<http://murayama2/>

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟509室

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠であるつの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞 (2回)
3. 過去分詞の意味 (2回)
4. 不定詞の意味 (2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味 (2回)
6. 完了時制 (1回)
7. 語順のまとめ (2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む) (3回)

【教科書】

随時、プリントを配布する。  
安河内哲也: TOEIC TEST スピードマスター(自習用)(Jリサーチ出版)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121  
, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験 - 50%, 小テスト - 20%, 単語帳からの試験 - 20%, レポート - 10%  
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受験するためには、実授業数の 4/5 以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。  
毎回の学習事項に関する小テストには、TOEICの出題形式によるテストも含まれる。

**【担当教員】**

村山・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503, 510室

**【授業目的及び達成目標】**

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of student interests. I expect students to help me identifying topics they want to talk about.

**【授業項目】**

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.



**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of student interests. I expect students to help me identifying topics they want to talk about.

**【授業項目】**

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

**【担当教員】**

中村 善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟505

**【授業目的及び達成目標】**

主として、Eメールで使用される表現や書き方の学習を通じて、実践的なライティングのスキルを向上させることを主眼とする。

**【授業キーワード】**

英作文、文法、語彙

**【授業内容及び授業方法】**

使用テキストは文法・英訳の演習問題から構成されている。英訳問題は黒板に書いてもらうので、各自事前の予習を確実にすること。随時、予習の有無をチェックし、その結果を平常点に含める。また、小テストを行う。

**【授業項目】**

第1週	Introduction, Invitation to an Event
第2週	Greetings
第3週	Announcing an Event
第4週	Inquiry
第5週	Asking Someone's Favor
第6週	Introducing Yourself
第7週	Making a Appointment
第8週	Expressing Thanks
第9週	Congratulations
第10週	Making a Complaint
第11週	Apologizing
第12週	Making a Proposal
第13週	Sympathy
第14週	Refusal
第15週	期末試験

**【教科書】**

E-mail Communication (鶴見書店)

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席点(20%)、平常点(40%)、期末試験(40%)

**【留意事項】**

和英辞典を持参のこと(電子辞書可)。

【担当教員】

鞍掛 哲治

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

TOEICの問題を通して、基本的なリスニング、文法、読解力の養成を計る。また、TOEICの問題、並びに問題形式に慣れるようにする。さらに、基本的な語彙力が不足している学生が多いので、語彙力のアップを目指す。この授業終了時には、TOEICの点数が450以上になることを目標とする。

【授業キーワード】

TOEIC、listening、grammar、reading、vocabulary

【授業内容及び授業方法】

テキストは、リスニング・文法・読解の演習問題から構成されている。各自【授業項目】を参照し、予習して出席すること。授業中は各自1問ずつ解答を言ってもらいます。また、毎回授業の最初に単語テストを実施するので、準備を怠らないよう希望する。

【授業項目】

- 第1回 Introduction, TOEICの小test
- 第2回 教科書(1章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞  
単語テスト(1) Word Navi pp.14~47
- 第3回 教科書(2章) Listening 状況描写 Reading 形容詞と副詞  
単語テスト(2) Word Navi pp.48~81
- 第4回 教科書(3章) Listening 位置関係 Reading 前置詞と冠詞  
単語テスト(3) Word Navi pp.82~117
- 第5回 教科書(4章) Listening 一般疑問文 Reading 接続詞と関係詞  
単語テスト(4) Word Navi pp.118~151
- 第6回 教科書(5章) Listening 特殊疑問文 Reading 主語と動詞の一致  
単語テスト(5) Word Navi pp.152~187
- 第7回 教科書(6章) Listening 肯定文その他 Reading 動詞の語法と準動詞  
単語テスト(6) Word Navi pp.188~221
- 第8回 中間試験  
単語テスト(7) Word Navi pp.222~247
- 第9回 教科書(7章) Listening 話題/提案 Reading 助動詞と時制・仮定法  
単語テスト(8) Word Navi pp.14~47
- 第10回 教科書(8章) Listening 場面・職業 Reading 冠詞と数の概念  
単語テスト(9) Word Navi pp.48~81
- 第11回 教科書(9章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞  
単語テスト(10) Word Navi pp.82~117
- 第12回 教科書(10章) Listening 現在の動作 Reading 動詞と名詞  
単語テスト(11) Word Navi pp.118~151
- 第13回 教科書(11章) Listening 広告・宣伝 Reading 手紙・FAX・メモ  
単語テスト(12) Word Navi pp.152~187
- 第14回 教科書(12章) Listening 講義・会議 Reading 記入用紙・統計資料  
単語テスト(13) Word Navi pp.188~221
- 第15回 期末試験  
単語テスト(14) Word Navi pp.222~247

【教科書】

Operation TOEIC(r) Master (松柏社) 石井隆之他著 1700円  
Word Navi 3000 (啓林館) 英語授業研究会FEEL編 820円

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験[中間・期末] (35% x 2 =70%)、毎回の単語・宿題テスト(30%)

\*試験実施方法及び評価基準について

1. 定期試験[中間・期末]、単語・宿題テストは、TOEICに倣ってマークシートを用いて実施する。
2. 欠席が授業回数の3分の1以上の学生は、単位の認定を行わない。

【留意事項】

1. 【授業項目】は受講者の習熟度、人数等により変更になる場合があります。その場合は、事前に連絡します。
2. 追試は実施しません。
3. 質問等は、授業終了後のみ受け付けます。
4. TOEIC Japanの公式ページ <http://www.toeic.or.jp/index.html> です。

**【担当教員】**

近藤 多香子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師

**【授業目的及び達成目標】**

最近マスメディアで取り上げられている身近な話題を扱った科学評論を読みながら、英文の読解力養成を図る。また基本的な語彙の定着を目指す。

**【授業キーワード】**

読解力養成

**【授業内容及び授業方法】**

授業は1週1章のペースで進める。各章は本文とExercisesから構成されている。予習時には本文の読解に加えてPre-reading Task, Exercises の1と2をかかさず解き、授業に臨むこと。また各回の授業始めに、前回の章で扱った語彙を問う小テストを実施する。

**【授業項目】**

- 第1週 Introduction, Chapter 2
- 第2週 Chapter 2
- 第3週 Chapter 4
- 第4週 Chapter 5
- 第5週 Chapter 8
- 第6週 Chapter 10
- 第7週 中間試験
- 第8週 中間試験の解説、Chapter 12
- 第9週 Chapter 13
- 第10週 Chapter 14
- 第11週 Chapter 15
- 第12週 Chapter 17
- 第13週 Chapter 18
- 第14週 Chapter 19
- 第15週 期末試験

**【教科書】**

BREAKTHROUGH - Expanding the Boundaries of Science by Yukio Seya and others (南雲堂)

**【成績の評価方法と評価項目】**

中間・期末試験(30%×2=60%)、小テスト(20%)、平常点(20%)

試験実施方法および評価基準について

- ・定期試験は中間と期末の2回実施する。範囲は前回までの授業の中から出題する。教科書、辞書等の持込は許可しない。
- ・欠席が授業回数数の3分の1以上、または中間・期末試験のいずれかを受験しなかった学生の評価は59点以下とする。

**【留意事項】**

評価は上記の通り。追試等はありません。

**【担当教員】**

石岡・ドライアー

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟509,510室

**【授業目的及び達成目標】**

Environmental Studies—It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will proceed along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the field of environmental studies. For his part, the English native speaker will present students with a number of readings—and possibly video programs—in which important issues related to environmental concepts are considered. Students will be challenged to consider applications and implications of environmental concepts, as well as governmental and organizational policies. They will also be asked to consider, and re-consider, the basic assumptions and philosophical bases that underpin human actions relative to the environment. Thus, readings will include not only descriptions of current problems such as, e.g., global warming or deforestation, but also essays in which authors delineate ways of thinking about our relationship with the natural world.

**【授業キーワード】**

Environmental problems; useful vocabulary; curriculum vitae; reading

**【授業内容及び授業方法】**

Students will be given a number of reading assignments and quizzes in class. They will also be expected to develop their awareness of important vocabulary related to the topic. Emphasis will be placed on the importance of environmental activism in everyday life.

**【授業項目】**

Global warming  
Alternative fuels  
Energy conservation in practice  
Think globally, act locally

**【成績の評価方法と評価項目】**

Assesment will be based primarily on the results of weekly quizzes.

**【担当教員】**

Valerie. McGown (ヴァレリー マクガウン)

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟404室

**【授業目的及び達成目標】**

経営情報システムおよびビジネス関連の専門用語の獲得、専門分野の英語文献の読解と、それについての英語でのディスカッションに積極的に参加できるようになることを目的とする。

**【授業キーワード】**

専門用語、専門分野の英語文献、英語でのディスカッション

**【授業内容及び授業方法】**

経営情報システム系教官によるTeam Teaching。  
経営情報システムおよびビジネス関連の英語文献をもとに、その言葉づかい、表現の仕方に注目して、英語の理解力を高め、それをディスカッションに生かす。

**【教科書】**

未定

**【参考書】**

関連する学術論文、新聞・経済誌の記事を教材として適宜配布する。

**【留意事項】**

もうかなりの英語力をもって、それをさらに伸ばしたい学生のためのadvanced courseである。Class size will be limited to 15 maximum based on an interview and a reading exercise conducted during the first class with the teachers.

**【担当教員】**

古川 登美子

**【教員室または連絡先】**

非常勤講師 E-mail: furukawa@duck.niigataum.ac.jp

**【授業目的及び達成目標】**

英語で書かれた報告書や論文に読み慣れることを目的とし、さらに読みとった内容を参考にして、英語でのプレゼンテーション能力を伸ばすことにつなげていく。

**【授業キーワード】**

建設関連英語文献、読解、プレゼンテーション、ティーム・ティーチング

**【授業内容及び授業方法】**

建設系教官と英語教官との2名が同一授業に参加する。学習者は建設関連の文献をテキストに、学習補助シート(語彙リスト、簡潔な解説資料、課題等)を使用しながら読解する。2週間読み進めた内容について3週目に各人が要約を発表する。授業の最終時に自分で選択した内容についての全体プレゼンテーションを英語で行う。

**【授業項目】**

第1時間目に担当者から説明・配布をする。

**【教科書】**

建設関連の英語文献

**【参考書】**

必要に応じて授業時に紹介する。

**【成績の評価方法と評価項目】**

出席点20点、授業中の活動への積極的な取り組み(予習・発言)10点、要約発表10点、プレゼンテーション60点

**【担当教員】**

村山・ドライアー・石岡 精三・中村善雄

**【教員室または連絡先】**

化学経営情報1号棟503,510室(村山・ドライアー), 化学経営情報1号棟507室(石岡)  
化学経営情報1号棟505室(中村)

**【授業目的及び達成目標】**

選択科目であり、技能別に関心のある分野を学習しつつ、全般的な英語力の伸長を目標とする。

**【授業キーワード】**

語彙、文法構造、読解、英作文、聞き取り

**【授業内容及び授業方法】**

英文法、英作文、聞き取り等の技能別分野に3クラス開講する。英文法のクラスでは基礎的な語彙、基本的な英文法をを学習する。英作文のクラスでは英文法の理解に基づき、語順などを含む基礎的な作文能力を身につける。聞き取りのクラスでは簡単な聞き取りの練習を行いつつ、読む能力の向上を図る。学生は自分の関心のあるクラスを受講することとなる。

**【授業項目】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【教科書】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【参考書】**

最初の授業で、各担当教官が提示する。

**【成績の評価方法と評価項目】**

定期試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価する。

**【留意事項】**

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる3コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。